

台湾と中国の語彙の差異

—日系外来語を中心に—

柯 惟惟

1. 本研究の動機と目的

台湾と中国は政治上の関係で一時期交流が禁止されたため、日系外来語についても、この時期に流入し定着した語彙には違いが見られる。最近になって、インターネットの普及や政治的な開放に伴い、台湾と中国の間で情報の交流は盛んになっている。台湾における中国語と中国における中国語の語彙の差異はこれまでも数多く研究されてきたが、日本語由来の語彙を中心とした研究は管見の限りまだ少数である。ここでは、台湾に流入した日系外来語を、経緯の違いによって植民地時期からの残存外来語と戦後の新日系外来語に分け、さらに戦後期については二つの時期に区分した。そのうえで中国において、台湾と同じ日本語に由来する語彙がどのように使用されているかを調査した。

2. 研究方法

研究方法としては、台湾で使用頻度が高いことが分かっている日系語彙を取り上げ、その語彙が中国でも使われているか、また意味は一致しているかについて調査を行う。台湾における残存外来語の多くは台湾語（主に閩南語）方言の発音を借り、中国語の漢字で書き表しているが、使用する漢字は未だに規範化されていない。例えば、日本語の「あっさり」は、台湾においては優柔不断でない、お金にケチケチしないといった意味を表し、その書き方は、“阿沙力”あるいは“阿莎力”になっている。「さ」の音声は“沙”あるいは“莎”と表記されている。語彙を調査するには、あらゆる表記を調査すべきだが、普及していない表記も調査に入れると正確性に影響を及ぼすため、本

稿は先行研究において、すでに台湾において多く使用されているとされる残存外来語とその表記を取り上げる。

対象語彙の出所は以下のようである。10語の残存外来語は、陳麗君(2000)¹から柏青哥(小鋼珠:パチンコ:鋼鉄の小玉を下方からはじき上げ、障害の釘を抜けて所定の穴に落ちると多くの玉が出るもの²)、莎叻娜拉(離別時招呼語:さよなら:別れのあいさつに用いる語³)、馬殺雞(按摩:マッサージ:主に手で、皮膚や筋肉をさすったり、もんだり、たたいたりして刺激を与え、新陳代謝をよくし、機能を回復させて治療を図ること⁴)”、姚榮松(1992)⁵から槓龜(全盤皆輸:スコンク:競技などで、無得点で負けること。⁶)、阿沙力(乾脆, 爽快:あっさり:人の性質がしつこくないさま⁷)、顔秀珊(2008)⁸から甜不辣(魚漿做成的食品:てんぷら:西日本ですり身にした魚肉を味つけて油で揚げた食品をいう⁹)、歐巴桑(對女性老年人的稱呼:おばさん:よその年配の女性を親しんでいう語¹⁰)、歐吉桑(對男性老年人的稱呼:おじさん:よその年配の男性を親しんでいう語)。台湾の『教育部臺灣閩南語常用詞辭典』¹¹から黑輪(關東煮:おでん:さつまあげ・ちくわ・蒟蒻・大根などを、汁をたっぷり使って煮込んだ料理¹²)、多桑(爸爸:父さん:父を親しみを込めて呼ぶ語¹³)”を収集した。そして、その他の15語の新日系外来語は柯惟惟(2008)¹⁴から収集したものである。

これらの語彙¹⁵の中国側での使用状況は、辞書、新語書籍、インターネット使用例の三つの手段を用い、調査した。

(1)辞書¹⁶は、中国の代表的な辞典、『現代汉语词典』(2003)と『現代汉语规范词典』(2004)である。

(2)新語書籍は、『2007 汉语新词语』(2008)と『21 世紀華語新詞語辭典』(2008)である。

(3)インターネット使用例は、中国で最も使用されている検索サイト“百度”から用例を収集した。

以上の三つの手段で、日系語彙の台湾と中国での使用状況を考察した。例えば、同じ語彙を使用しているか、意味のズレがあるかなどについて調査を行った。

語彙の使用を調査するには、その言語の使用者にアンケート調査を行うこ

とが最も適切な方法だが、今回は日本にいる中国人留学生に限って調査を行った。しかし、彼らはそれぞれの日本語能力も出身地も異なっており、いずれも調査の結果に大きな影響を及ぼすため、今回はアンケート調査という方法は採用していない。

3. 日系語彙について

日系外来語は台湾に流入した時期により三つグループに分けられる。まず、日本植民地時代から残されている残存外来語、そして国民党政府が持ち込んだ中国語と一緒に入ってきた近代外来語、最後は近年になり台湾と日本の交流が盛んになるにつれ、流入してきた新日系外来語である。このうち、近代外来語はすでに中国語の一部に定着しているため、調査から除外する。本稿は定着状況がまだ不明な日系語彙を中心にし、残存外来語と新日系外来語のみ、調査を行う。

調査する日系語彙は、研究方法で述べたように、台湾で多用されている 15 語の残存外来語、そして新日系外来語のローマ字表記の“OL、H、MOOK”、かな表記の“の”、漢字表記の“人氣、美白、達人、阿宅(よく家に籠っている人)、素颜、美乃滋(マヨネーズ)、派遣人員、小臉、好感度、美肌、私物”である。

4. 辞書・新語辞典・インターネットを用いた考察

本稿は、洗い出した対象語彙を辞書、新語辞典、そしてインターネットの三つの手段を用い、中国での使用状況を調査した。『現代汉语词典』などの辞書はすでに定着し、広く使われている語彙を掲載している。それに対して、新語辞典は新しく流入してきた語彙の中で、定着する可能性の高い語彙を収集したものである。この二種類の辞書によって、対象語彙の現状を明らかにしたい。また、インターネットは、流行性が高く、安定性は低いが、私的な場面の語彙使用が調査できるので用いた。

(1) 辞書による考察

今回は中国の代表的な辞書『現代汉语词典』と『現代汉语規範詞典』での

対象語彙の掲載状況を調査した。

『現代汉语词典』では、全ての対象語彙の中で“派遣人員”の類似語彙“派遣”は“(政府、机关、团体等) 命人到某处做某项工作：派遣代表团出国访问。(政府、機關、団体などが)人のある場所へ行かせ、あることをさせること：海外へ代表団を派遣する。)”の意味しか見出されなかった。『現代汉语规范词典』では、“1. 人群所表现出来的活跃气氛。(群集の生み出す熱気。)2. 人或事物受欢迎的程度(人或いは事物の歓迎される程度。)”を意味する“人气”1語のみだった。今回調査した対象語彙は2の意味で使われている。また、“派遣人員”は『現代汉语词典』と同じように、四文字の“派遣人員”ではなく、二文字の“派遣”が“派人外出执行任务。(使命をもって赴かせること。)”のように掲載している。その他、“好感度”は“好感”で“满意或喜爱的感觉。(満足した感じ、好ましい印象。)”として掲載している。

対象語彙は『現代汉语词典』で1語、『現代汉语规范词典』で2語の類似した語彙が掲載されているが、対象語彙とは意味のズレがある。“派遣”は元々「ある使命をもって赴かせる」という意味だが、今はその意味から派生した「雇用関係のある派遣元会社から、他の企業に派遣されて勤務する」という派遣社員、派遣労働者の意味で台湾で広く使われている。両辞書において、“派遣”は元来の意味しか持たない。また、“好感度”は“好感”に接尾語“度”を付けた語彙、好ましいと感じる度合いを意味している。“好感”の意味とはずれている。

つまり、対象語彙と同じ意味で掲載されている語彙は『現代汉语规范词典』の“人气”の1語のみだった。このように、辞書での掲載率が低いのは、これらの語彙は流行性の高い、新しい意味を持つ新語、あるいは台湾の方言から生まれた語彙なので、中国の辞書に掲載されない傾向が高いことが原因の一つだと思われる。

(2) 新語辞典による考察

本稿では、『2007 汉语新词语』と『21 世紀華語新詞語辭典』の二冊を用い、対象語彙の掲載状況を調査する。

『2007 汉语新词语』は、以下 1～4 の手順で語彙を選定している。1. 機械

によるコーパス(国家語言監測語料庫)から候補語彙を洗い出す。2. 人工的に確認し、選定する。3. 社会から広く意見を集めるために、選定した 452 語に、さらに説明や使用例文を添付し、“新浪网”というサイトに公開する。4. 語彙専門家がネット上の意見を参考にしながら、不適切な語彙を取り除く。こうして選ばれた 254 語が掲載されている。

『21 世紀華語新詞語辭典』は語彙選定にあたり、2000 年 1 月 1 日～2006 年 6 月 30 日間の、北京、上海、澳門、台湾、シンガポールの新聞から収集したコーパス¹⁷を使用している。語彙収集は中国のみではなく、香港、台湾各地域から用例を収集しているが、語彙の使用地域を明示しているので、この書籍を採用した。また、新語の収集は 2000 年以後に現れたものを中心としている。

『2007 汉语新词语』に見られる対象語彙は、“阿宅”の関係語彙“御宅文化”¹⁸ 語のみで以下のように掲載されている。

・御宅文化：指痴迷于动画、漫画、电子游戏而待在家裡、不愿与外界接触的社会现象。多发生于青少年人群、这样的人被称为御宅族。御宅族一词是日本社会评论家中森明夫于 1983 年首次使用。

（“御宅文化”：アニメーション、漫画、ビデオゲームに夢中になって、家にこもり、外界と接触する意欲を持たないという社会現象である。その多くは若者である。このような人々は“御宅族”と呼ばれている。“御宅族”という語は、1983 年、日本のコラムニスト中森明夫が初めて使った。）

そして、『21 世紀華語新詞語辭典』では、“御宅族、阿沙力、OL”の 3 語で、以下のように掲載されている。

・御宅族：沉溺於新事物的人、源自日語。

背景知識：音譯外來詞、源自於日語「おたく」。1983 年日本社會評論 分析者中森明夫、(中略)初次正式使用「おたく」來稱呼熱衷於動畫、漫畫及遊戲等次文化人群。後以「おたく」作為這個人群的代稱。

地區差異：多用於港台和新加坡。

（“御宅族”：新しい事物に夢中になっている人。日本語由来。

背景知識：音訳外来語。日本語の「おたく」が語源。1983 年にコラムニスト中森明夫がアニメ、漫画、ゲームなどサブカルチャーを愛好する人のこ

とを指してはじめて正式に使った。それ以来、このような人達は「おたく」と呼ばれている。

地域差異：香港、台湾、シンガポールで多く使われる。）

・阿沙力：豪爽、講義氣。

背景知識：音譯外來詞、源自於日語「あつさり」、指人説話、做事豪快俐落、不拖泥帶水。

地區差異：多用於臺灣¹⁹。

（“阿沙力”：豪快、仁義を重んじる。

背景知識：音訳外来語、日本語の「あつさり」が語源。人の言うことややることなどが豪快であり、小さな事に拘らず、はきはきしているさま。

地域差異：台湾で多く使われる。）

・OL：1. 办公室的白領女性、多用於港台。2. 遊戲網路版。3. 滑板用語、用雙腳帶板起跳。

背景知識：1. office lady 2. online 3. Ollie、字母詞。

地區差異：1 多用於港台、2、3 多用於中國大陸與臺灣。

（OL：1. オフィスレディのこと、香港、台湾で多く使われる。2. オンラインゲームのこと。3. スケートボード用語、スケートボードをけり上げ、受け止めてからまた乗ること。

背景知識：1. office lady 2. online 3. Ollie、ローマ字表記の語。

地域差異：1. 香港、台湾で多く使われる。2、3. 中国と台湾で多く使われる。）

台湾で頻繁に使用される日系語彙のうち、『2007 汉语新词语』には“阿宅”の関係語彙「オタク」が“御宅文化”の1語のみ掲載されている。『21世紀華語新詞語辭典』にも“御宅族、阿莎力、OL”の3語のみ掲載されている。“阿宅”は“御宅族”として掲載されている。『21世紀華語新詞語辭典』では3語が掲載されているが、使用地域は香港や台湾と明示している。つまり、新語として掲載しているが、中国ではまだ広く使用されていないのが現状である。

新語書籍の二冊とも、台湾でよく家に籠っている人を指す“阿宅”は関係語彙の“御宅文化”や“御宅族”として掲載されている。一見本来の意味と

相当ずれているように見えるが、台湾で使われている「家に籠っている」という意味は、あることに熱中するあまり家も出たなくなっていることから転じたのである。「阿宅」は、後述の 4(3)「インターネットによる考察」で調査した使用例でも「家に籠っている」という意味で中国のネット上で多く使用されている。

2008 年に出版された中国語の新語書籍を調査した結果、二点の特徴が分かった。第一は、対象語彙の掲載率が低い。つまり、台湾で多く使用されている日系語彙の中国での使用状況は新語書籍に掲載するほど使用されていない。第二は、意味のズレが見られる。台湾ではオフィス・レディとして使用されている“OL”は中国ではオンラインゲーム、あるいはスケート・ボードの技の一つとして使われている。ちなみに、中国ではオフィス・レディのことは“白领”と呼ばれている。

(3) インターネットによる考察

中国で最も使われているサーチエンジン“百度”で簡体字中国語のみを検索した²⁰。対象語彙一つにつき、それぞれ一つの使用例を選び出した。また、“百度”で検索すると、最初に出てくる項目は常に語彙の説明ページ²¹である。語彙の意味の説明を兼ね、説明ページも使用例として表に入れる。

まずは、日本植民地時代から台湾に残された残存外来語の中国のネット上での使用状況を見てみよう。

・残存外来語

台湾	中国	
	見出し 件数	使用例
歐巴桑	5,620,000	<p>欧巴桑是日语直接发音，原意是：大嫂、阿姨。泛指中、老年妇女。到了港台，对这个词实际已经变味，引申为：三八型的老妇女。（百度百科）</p> <p>（“欧巴桑”は日本語から音訳された語彙である。元々はおばさんを意味し、中年、老年の女性を指していたが、台湾、香港で意味が変化して、現在は恥知らずの中年女性という意味になった。）</p>

槓龜	4,150,000	杠龟是“零分、落败”的意思，起初多用于彩票业，现在渗透到其他领域。台湾传入大陆的词汇。（百度百科） （“杠龟”は零点、負けるという意味である。最初は主に宝くじについて使われていたが、現在は他の分野でも用いるようになった。台湾から中国に流入した語彙である。）
歐吉桑	1,410,000	关于欧吉桑，原本这个词是中性的，但是因为当代年轻男性忌讳被人说自己老，所以这个词在特定场合或多或少有一些贬义。（百度百科） （“欧吉桑”は元々中性的な語彙だったが、現代の若い男性は年をとったと言われることを嫌うため、特定の場面ではネガティブな意味を含む。）
甜不辣	920,000	甜不辣是一种日本叫鱼板的食物（tempura），中文名叫天妇罗，而台湾人将 tempura 音译成甜不辣而得名。（百度百科） （“甜不辣”は食品の“鱼板”の日本語の呼び名（tempura）である。中国では“天妇罗”と呼ばれているが、台湾では tempura を“甜不辣”と音訳した。）
黑輪	788,000	黑轮是台湾的叫法，内地这边叫做杂烩。（百度百科） （“黑轮”は台湾の言い方である。中国では“杂烩”と呼ばれている。）
馬殺雞	764,000	马杀鸡是由英文 Massage 音译而来，它在广东、香港、澳门等地区应用得尤为普遍。（百度百科） （“马杀鸡”は英語の Massage から音訳したものである。広東、香港、澳門で広く使われている。）
多桑	508,000	由台湾知名的作家、吴念真导演，多桑是日文在地化称呼父亲的讲法，在电影中被叙事者文建用来称呼他的父亲，剧中的男主角。（百度百科） （台湾の有名な作家、監督の呉念真が映画の中で、主人公である自分の父親を“多桑”と呼ぶ。）
柏青哥	356,000	柏青哥于 1930 年始创于日本名古屋，发源自欧洲的撞球机。（百度百科） （“柏青哥”は 1930 年に名古屋で最初の店舗が開店した。ヨーロッパから輸入されたものを改良したという。）

阿沙力	290,000	阿沙力是日语翻译成闽南语的音译。意思是很讲义气的意思。(百度百科) (“阿沙力”は日本語を閩南語で音訳した語彙である。仁義を重んじるという意味である。)
莎呦娜拉	8,110	台湾人看到莎呦娜拉，就跟我们看见“拜拜”一样，根本不需要翻译成“再见”。 (“莎呦娜拉”は台湾の人にとって、“拜拜”と同義語である。“再见”と翻訳する必要はない。)

仮に、見出し数が百万件を超えると、インターネットにおいて頻繁に使われていると認定した場合、“歐巴桑、槓龜、歐吉桑”は中国のインターネットでよく使用される語彙だといえる。インターネットを検索する際に、対象語彙とは別の意味を持っている語彙があり、例えば、“黒轮”はおでんという食品ではなく、目の下の色の濃い部分という意味の“黒轮”も出ているが、これはインターネットによる調査を行うときに避けることができない欠点の一つである。ただし、おでんという意味の“黒轮”は中国ではあまり使わず、そのものは“杂烩”と呼ばれていることが使用例から分かった。

次は、新日系外来語の“百度”での検索結果である。

・新日系外来語

台湾	中国	
	見出し 件数	使用例
H	100,000,000	H漫就是 18 禁漫画, H=hentai, 日语变态的意思, 但也有 18 禁的意思。 (“H”漫は十八歳以下禁止の漫画のことである。H は日本語の変態の頭文字からきた語彙である。18 歳以下禁止の意味も含まれている。)
OL	100,000,000	OL是Online的缩写 On-line 或者Online, 就是计算机在线、联机、在网上、在线的意思。 (“OL”はOnlineの略である。表記はOn-lineあるいはOnline、パソコンがインターネットに繋がっていること。)

		白领 OL 永远给人干练，精明能干，正式的感觉。 (“OL”はいつも賢く、仕事ができそうなイメージがある。)
の	100,000,000	老姚の时光记忆 或许，真的有过一个春天，或许你忘了，但我还记得。 (姚さん“の”メモリー 春を過ぎると、君はもう忘れてしまうかもしれないが、私はまだ覚えている。)
人氣	100,000,000	中文中的人气一词来源于日语的「人气」。后来台湾演艺界开始借用过来。然后大陆又开始用。形容人或事物受欢迎的程度。 (中国語の“ <u>人氣</u> ”は日本語の人氣から来た語彙である。後に台湾の芸能界が借用し始め、その後中国に流入した。人や物事が流行っている程度を表している。)
小臉	50,400,000	小臉已成为衡量现代美女的标准之一。 (“ <u>小臉</u> ”はすでに美人の基準の一つとなっている。)
素颜	47,200,000	曝光明星机场素颜照。(空港で見せたタレントさんの“ <u>素颜</u> ”。)
美肌	16,800,000	一起来学习有用的冬季护肤的减压方法，打造出冬日红润细腻的桃花美肌。 (ストレス解消の冬スキンケアを勉強しましょう。桃花のような“ <u>美肌</u> ”のお手入れ。)
美白	10,000,000	要美白，不用美白产品可不行。(“ <u>美白</u> ”するには、“ <u>美白</u> ”商品を使わないといけない。)
達人	10,000,000	达人一词应该来自日语中的达人一词。意思是高手，名手，能手。学问，技艺等方面精通的人。大陆的达人一词引自台湾。 (“ <u>达人</u> ”は日本語の達人から由来している。技芸・学問の奥義に達している人。中国の“ <u>达人</u> ”は台湾から流入している。)
派遣人員	9,540,000	派遣人員隶属劳务公司，劳务公司与派遣人员签订劳动合同，建立劳动关系。 (“ <u>派遣人員</u> ”は雇用関係のある派遣元会社から、他の企業に派遣されて勤務する労働者である。)

好感度	6,560,000	家长 <u>好感度</u> 100%妆容 见家长,毋庸置疑,既要大方漂亮又自然。 (家族の“好感度”がアップする 100%メイク。無論、自然でキレイである。)
阿宅	1,020,000	主人公の性格特点、生活方式很像阿宅。 (主人公の性格やライフスタイルは御宅のようである。)
私物	1,000,000	明星贴身私物曝光 林心如 PSP 随身带。 (タレントさんの“私物”を公開する。林心如はPSPを持ち歩いている。)
MOOK	507,000	Mook 是一个英日混血的组合单词,即将杂志(Magazine)和书籍(Book)合在一起,成为独具魅力的杂志书(Mook)。 (“Mook”は英語と日本語をミックスした語彙である。雑誌(Magazine)と書籍(Book)を組み合わせ、Mook となった。)
美乃滋	477,000	<u>美乃滋</u> 一般来说就是沙拉酱或蛋黄酱,它是用沙拉油、蛋黄、砂糖和醋等材料打制而成。(“美乃滋”は“沙拉酱”や“蛋黄酱”と呼ばれている。サラダ油と卵黄、酢、砂糖などをまぜ合わせたソースである。)

このグループの語彙は、残存外来語のような方言由来ではないので、使用例は語彙の意味を説明する“百度百科”ではなく、一般的なページから使用例を引用する。インターネットの見出し件数が百万件を超えている語彙は“MOOK、美乃滋”を除いた13語である。つまり、仮名表記の“の”、ローマ字表記の“H、OL”、そして漢字表記の“人気、小脸、素颜、美肌、美白、达人、派遣人员、好感度、阿宅、私物”はインターネットでよく出現していることが分かった。このうち、“H、OL、の”の見出し件数が一億に達しているが、参考にならない。これについては、次の4(4)「ネット使用の特徴・欠点」で詳しく述べる。ローマ字の“H、OL”は対象語彙と同じ意味の使用例もあるが、異なる使用例もたくさんある。それに対して、仮名表記の“の”は主に中国語の“的”の代用語として使用されている。漢字の語彙は、台湾と同じ意味で使われている。

相違点から二つのグループの特徴を掴んでみた。まずは、見出し件数から分析する。百万件を超えるものは、残存外来語は“歐巴桑、槓龜、歐吉桑”

の 3 語、新日系外来語は仮名表記の“の”、ローマ字表記の“H、OL”、そして漢字表記の“人気、小脸、素颜、美肌、美白、达人、派遣人员、好感度、阿宅、私物”の 13 語があった。ここから新日系外来語のほうが中国のインターネットでよく使用されていることが分かる。また、使用例から見ると、残存外来語は台湾由来と書かれているのに対して、新日系外来語は“人気、达人”2 語のみ台湾から流入したと提示している。残存外来語は、南方方言の発音をベースに音訳で流入した語彙なので、中国に元からある語彙や日本語から直接来た語彙ではなく、台湾を経由し、中国に流入したと考えられる。

そして、中国のインターネットで用いられる意味から分析してみると、以下の二点に分かる。第一に、使用例から見れば、残存外来語は、台湾とはまったく同じ意味で用いられている。第二に、新日系外来語は、“OL”一語のみが台湾では使われていない意味も使われている。また、中国ではオフィス・レディのことを“白领”という語彙で表す。

(4) ネット使用の特徴・欠点

語彙のネット上の使用状況は見出し件数によって知ることが出来た。ただし、ローマ字表記の“H”や“OL”は短い語彙なので、検索すると“H”や“OL”のローマ字が混入し、関係のない英語単語の語彙も見出ししてしまうため、見出し件数が多くても定着、あるいは通用しているとはいえない。つまり、ローマ字の 2 語彙“H、OL”の見出し件数は参考にならない。

ネット検索の欠点を整理すると、以下のようになる。第一に、漢字が同じでも、別の意味で使われている見出しは避けにくい。第二に、ローマ字の語彙を検索すると、ほかの英語単語と混同する恐れがある。第三に、仮名表記の「の」を検索すると、簡体字中国語のページを設定しても、以下の四つの使用場面が出てくる。①日本語のページ、②「の」を使った中国の商品名、③中国人が書いた日本語短文、④中国語の文章で“的”の代わりに使われている「の」。台湾では四番目の使い方使われているが、これのみの検索はできない。しかし、見出し件数と使用例から見ると、四番目のほうの使用も少数ではないことが分かった。そして、簡体字中国語のみ検索するように設定しても、台湾に関する記事を掲載する際だけこれらの語彙を使用するケース

も見られる。

日系外来語のグループ別で見てみよう。今回調査した 10 語の残存外来語は中国のインターネットの使用例から見ると、多くの語彙は台湾と意味のズレがなく、同じ意味で使われ、しかも台湾から流入してきたことも明示されているが、使用例の多くは中国側が台湾の新聞を引用、あるいは台湾の事物を紹介している文章であった。したがって、見出し件数が多く、同じ意味で使用されていても、このグループの語彙は台湾から中国に流入しているとはいえない。

次に、調査した 15 語の新日系外来語の結果である。ローマ字は“MOOK”を除いた“OL、H”の 2 語は、ほかの英語語彙と混同してしまうような欠点があるため、見出し件数は参考にならないことが収集した使用例から分かる。また、“MOOK”については、書店や出版社と関係するページにしか見出されなかったことから専門用語の傾向があると思われる。仮名表記“の”の見出し件数が多いのも上述した“OL、H”と同じ原因によると考えられる。使用例を調べると、名詞と名詞の間で使われていることが多く、これは台湾のネットでの使用と一致している。そして、漢字表記の 11 語は、台湾と同じ意味で使われている。そのうち、“人気、达人”は台湾から使用し始めたと述べているが、台湾から流入しているとは断定できない。

5. 結び

インターネットを除くと、辞書や新語書籍で台湾で通用している日系語彙の掲載率は極めて低いことが、この調査で分かった。辞書では、対象語彙と同じ意味で掲載されている語彙は『現代汉语规范词典』の“人気”1 語のみだった。流行性の高い、新しい意味を持つ新語、地域方言から生まれた語彙などは辞書に掲載されない傾向があることが、掲載率が低い原因の一つだと思われる。

また、書籍における掲載には、調査によって二つの特徴が見られる。第一に、台湾の書籍と中国の書籍の重複率が低い。『2007 汉语新词语』には“御宅文化”1 語、『21 世紀華語新詞語辭典』は“御宅族、阿沙力、OL”の 3 語

のみ掲載されている。第二に、意味のズレが見られる。台湾ではオフィス・レディとして使用されている“OL”は、中国でオンラインゲーム、あるいはスケート・ボードの技の一つとして使われている。また、『21世紀華語新詞語辭典』では3語を掲載しているが、使用地域は香港や台湾と明示している。つまり、新語として掲載しているが、中国ではまだ広く使用されていないのが現状である。

インターネットでの使用例から見ると、残存外来語の中国のインターネットでの使用は、先述したように殆どの語彙は台湾と意味のズレがなく、同じ意味で使われ、しかも台湾から流入してきたことも明示されているのに対して、新日系外来語は、“人気、達人”2語のみだった。なぜかという、借り入れる方は、漢字をそのまま中国語（普通話）で発音するのではなく、残存外来語は方言の発音を使い日本語を音訳しているので、台湾を経由し中国に流入している傾向があると思われるのである。そして、新日系外来語のローマ字表記の“MOOK”の見出し件数はそれほど多くないが、雑誌と書籍の間間的な出版物という意味にほぼ定着している。仮名表記“の”の見出し件数が多いのも上述した“OL、H”と同じ原因によると考えられる。また、使用例からみると、よく名詞と名詞の間に使われていることは台湾でのネット使用例と一致している。

以上三つの調査の結果を踏まえ、台湾で広く使われている日系語彙の中国での使用状況の一面を明らかにした。辞書や書籍では掲載されない傾向があるものの、一部の日系語彙はインターネットで頻繁に使用されていることが分かった。

また、心理的な面からいうと、中国では日系外来語の語彙を使うと、親日というラベルを貼られることもあるので、台湾より日系外来語の使用を控えているという見方もできる。今回は時間の関係で直接中国の人にアンケート調査を実施できなかったが、今後は機会があれば、以上の調査結果をベースにし、対象語彙もこの25語のほかに、さらに多くの日系外来語を入れ、アンケート調査も加え、台湾と中国の日系語彙の使用場面、語彙の定着度などの違いについて、さらに実態を明らかにしたいと考えている。

付記

本稿は、2011年5月15日に広島大学で開催された「日本中国語学会中国支部例会」において口頭発表したものを加筆し、修正したものである。

註

- 1 陳麗君「臺灣日語借用語之意義與使用的考察」、『臺灣語言跟語文教育』第2期、2000、pp.39-65。
- 2 デジタル版大辞泉を参照した。
- 3 同上。
- 4 同上。
- 5 姚榮松「臺灣現行外來語的問題」、『師大學報』第37期、1992、pp.329-362。
- 6 同注2。
- 7 同上。
- 8 顏秀珊「臺灣華語中的閩南方言詞初探」、『新竹教育大學人文社會學報』創刊号、2008、pp.49-68。
- 9 同注2。
- 10 同上。
- 11 『教育部臺灣閩南語常用詞辭典外来詞付録』、2008。
- 12 同注2。
- 13 同上。
- 14 柯惟惟「台湾における新日系外来語についての研究－『mina 米娜時尚國際中文版』の調査を通して－」、修士學位論文、台湾南台科技大学応用日本語学科、2008。
- 15 本稿で扱う語彙はは全て日系外来語と関している先行研究から抽出した語彙なので、よく議論になる外来語の定義については、それぞれの先行研究に従い、ここでは論じないことにする。
- 16 中国語での外来語を研究する際は、必ず言及される『汉语外来词词典』（1984）は時期別から言うと近代外来語の段階で止まっているため、今回は用いないことにする。
- 17 中文各地共時語料庫(LIVAC)。
- 18 “阿宅”は個人、“御宅族”は団体代称“御宅文化”はその文化。
- 19 『21世紀華語新詞語辭典』では“阿莎力”は“沙”の発音と一緒に“莎”で表示されている。ここでは同一の語彙と考えている。
- 20 2011年1月27日にアクセス。
- 21 『百度百科』。

参考文献

- 柯惟惟『台湾における新日系外来語についての研究－『mina 米娜時尚國際中文版』の調査を通して－』南台科技大学応用日本語学科修士論文、2008。
- 顏秀珊「臺灣華語中的閩南方言詞初探」、『人文社會學報』、新竹教育大学、2008。
- 侯敏他編『2007 汉语新词语』、商務印書館、2008。
- 鄒嘉彥・他編『21 世紀華語新詞語辭典』、麗文文化、2008。
- 中国社会科学院語言研究所詞典編輯室『現代汉语词典 繁體版光碟』、商務印書館、2003。
- 陳麗君「臺灣日語借用語之意義與使用的考察」、『臺灣語言跟語文教育』2 期、2000。
- 姚榮松「臺灣現行外來語的問題」、『師大學報』37 期、1992。
- 李行健他編『現代汉语规范词典』、外語教学與研究出版社、2004。

インターネット資料

教育部臺灣閩南語常用詞辭典外来詞附錄(2008)

http://twblg.dict.edu.tw/holodict_new/index.html

デジタル大辞泉

<http://dic.yahoo.co.jp/>

(pollyke72@gmail.com)